	の名称					みどり環境の保全	と創造													
	の期間 の目標	平成25年	F度 ~	平成28年	年度 (4	1年間)					交付対象		横浜市							
р) ш	横浜市						)ネットワークの打 :ともに、地域の5											て里山の	の自然環境	を楽し
計画	『の成果』	標(定:	量的指標)																	
							♪に歯止めをかけ、 ミす(H25 35箇所			(H23 2	261.3ha→H28 31	16. 1ha)								
定量	<b>む</b> 的指標σ	)定義及で	び算定式									VIII days	定量的扩		況値及び		1 INC /-1-		備考	
													現況値 当初)	中間!	目標値		目標値 <u></u> 3末)		910 3	
1	港南区日	野地区	(第2期)	都市再	生整備計	画外6計画におけ	る緑地保全制度に	よる指定	<b>E面積等</b>			261	. 3ha			316.	1ha			
2	構浜市に	*おける;	水辺拠点塾	&借笛所:	粉								5当初)				3末)			
٠	Belovijate	_401) 0)	I VE IGM	E/m (E1/71)	»A								箇所				9所			
			Δ.	計	l					_	I		国 別 果 促進事	要 専 の 宝	IA.	551	1171			
₹	全体事業發	費	(A + I		6, 5	48 A	6,548	В	-	С	-		示 促進事; €分)+C)					5. 2%		
○東公司	☑価の実施	a (水平)	主始時期					事	後評価(中	1 間 評	価)									
	の実施体		天 他 时 朔							事後評価	西(中間評価)の	実施時期		-t- /// =TE /r	r III. No	to the state of th	4 6-			
事後評価・平成28年度末時点 評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施しました。 公表の方法 はだまた。 よっこ																				
評価の透	評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者を入れた評価を実施しました。																			
横浜市ホームページ																				
1 大L	1. 交付対象事業の進捗状況																			
	1. 交付対象事業の進捗状況 交付対象事業																			
交付対象事業       A1 基盤事業																				
番号	事業	地域	交付	直接	事業者		要素となる事	業名			事業内容		市町	村名			間(年度		全体事業費 (百万円)	備考
12-A-1	種別 都市再生	種別 一般	対象横浜市	間接 直接	株 浜 古	港南区日野州区	(第2期)都市再	生敷備計	·画事業	河III &	(延長・面積等)		横浜	: if:	H25	H26	H27	H28	146	別紙1
12-A-2	都市再生	一般	横浜市	直接			区(第2期)都市				広場等 1,022ha		横浜						297	別紙2
12-A-3	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市		型地区(第2期)。 2地区(第2期)。	-		-	可川、緑地等 45	1ho	横浜						2, 205	別紙3
										+	5/11、林地寺 45 広場等 917ha	1114	横浜							
12-A-4	都市再生	一般	横浜市	直接			区 (第2期)都市			+									354	別紙4
12-A-5	都市再生	一般	横浜市	直接	横浜市		他区都市再生整備: ※国辺地区都市更			公園、総			横浜						545	別紙5
12-A-6	都市再生都市再生	一般	横浜市	直接直接			公周辺地区都市再 地区都市再生整備			公園、総	家地等 943na 录地等 331ha		横浜						1, 340	別紙7
12-A-1	部川丹生	一月又	(世代)	旦汝	(世代)	<b>欧西</b> · 亚开问应:	医区部 中子至州	川四尹禾	<u> </u>	乙國、市	KPE等 33IIIa		1典伊	4111		合計			1, 661 6, 548	力引和式 7
B 関連	社会資本																			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素	となる事	<b>写業名</b>	(延	事業内容 長・面積等)		「村名 <u></u> 地区名	H22	事業実 H23	施期間 ( H24	年度) H25	H26	全体事業費 (百万円)	備考
							_	•						•		合計				
			<i>,</i>	1 10 450 21	61 - 1											日戸			I.	I
番号			ることに。	より期待	される効	果														備考
- //4/1	提進事業 事業	地域	交付	直接	-t- 10. 10	省略		1 2 4 4	z 44- h		**+0	市町	「村名	-	事業宝	施期間(	年度)		全体事業費	備考
番号	種別	種別	対象	間接	事業者	工種	要素	となる事	+		事業内容		地区名	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	VII. 3
	1	I	ı		I					1		1				合計				
番号	一体的に	宝施す	ることに。	より期待	される効	果														備考
В.	LHJK	- / CME / 1		> >y113	_ 7 0 0 //1	×1-														vid 7

2. 事業効果の発現状況、目標値	の達成状況		
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現		進捗により、市街地におけ こより、水や緑に親しめる	
Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①(港南区日 野地区(第2期) 都市再生整備計画	261. 3ha	緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が想定以上のため。
	外6計画における 緑地保全制度によ る指定面積等)	338. 8ha	秋心  秋上   切及 47に 8 7
	指標②(横浜市 における水辺拠	3 9 箇所	整備方法の工夫により水辺拠点の早期供用ができたため。
	点整備箇所数)	40箇所	- 正明27 は27 上人にな 7 かぬたが27 1 2007110 くこんに20

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

・緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が高まった。また、市民と恊働で良好な森を 育成するための取組などにより、活動団体の関りが広がり、深まりました。

#### 3. 学識経験者の意見

- ・引き続き、樹林地の保全を着実に進めてください。
- ・本事業の効果は認められる。水辺愛護会・市民団体などの協力を得ながら多くの市民の憩いの場となるような効果的な運営を期待する。

#### 4. 特記事項(今後の方針等)

今後は樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進し、また、森と市民とをづなげる取り組みの推進していきます。 新たな水辺拠点の整備を進めるとともに、既存の水辺拠点の維持管理を行うことにより、良好な水辺環境の創出・保全を推進していきます。 (参考図面)市街地整備 計画の名称 横浜市における水・みどり環境の保全と創造 計画の期間 平成25年度 平成28年度 (4年間) 交付対象 横浜市 黒須田川周辺地区 (第2期) 北寺尾・獅子ケ谷周辺地区 三保・新治周辺地区 阿久和・宮沢地区 (第2期) 戸塚区舞岡川 周辺地区(第2期) 港南区日野地区 (第2期) 飯島・金井周辺地区 凡例 基幹事業 関連社会資本整備事業

PLANT

効果促進事業

合計

558

						都市	再生整備計	画	事後評価書										<b>別紙 1</b> 30年 3月19日
地区の名称		港南区日	野地区	(第2期)															
交付の期間		平成23年	三度 ~	平成27年	三度 (5年	三間)			交付対象		横浜市								
計画の目標	]																		
				全度を向上				- (7 - )		h 2 -									
	を沽かし A働でまち			一クと、日	野公園墓	地、日里	野中央公園などとの	の緑のネ	ットワークを形成	文する									
• 甲氏肠	が側じまり	つくりも	に進める																
計画の成果目	標(定量	的指標)																	
・河川鏨	を備により	日野川の	つ流下能力	<u>-</u> カを向上さ	させること	で、50	0 mm/h の降雨に	対し、川	の水が溢れず安全	全に流れる	ようになる。 (58	m³/秒→90m³/	秒)						
• 河川沿	いの通路	8を整備す	トることに	こより、水	くと緑のネ	ットワー	ークを進める。(1	l,120m-	→1, 420m)										
定量的指標の	定義及び	(首定式		ı							1	定量的	的指標の現	湿値及び	日搏術				
C 重H111日/示V	/足我及り	<del>并</del> 足八		1								当初現況値	* *	目標値	最終	目標値		備考	
												(H22当初)				7末)			
①河川の流	忙下能力											58㎡/秒	<b> </b>		90 m	/秒	İ		
② 水のネッ	②水のネットワーク整備量											(H22当初)			(Н2	7末)	İ		
	(2) 水の木ツトソーク 盤哺里											, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				.,,			
										-		1, 120m			1, 4.	20m			
全体事業智	掛		計	558	8	Α	558	В	_	С	_	効果促進					0. 2	1%	
	·	(A + I)	3 + C)									(A (提案分) +C	(A	+ B + C)					
									//s of the last	/ /	77 (~)								
O //2 / 1 PD	7		al and the same	l. He				争	後 評 価	(中間	評 価)								
○事後評価 (中間 素然評価 (中間			川、実施町	<del></del>						*W = 1	r o dt 46 nt 40								
事後評価(中間評	ド価)の実	施仲制		j						争後評価	5の実施時期		事後評価	5:平成28	8年度末時	寺点			
評価の透明性、客	<b>子観性、公</b>	正さを確	全保する た	ため、学識	裁経験者を	入れた計	平価を実施しました	た。		ハまのナ	- 3/4-								
										公表の力	7 法		横浜市オ	マームペー	-ジ				
1. 交付対象事業	どの進捗状	· 沪																	
交付対象事業	C 10 10 10	(1)1																	
A1 基盤事業 (	社会資本物	整備総合	交付金)																
番号 事業	地域	交付	直接	事業者			西書しみです	光力			事業内容	+:		事業実	施期間(	(年度)	-	全体事業費	備考
種別	種別	対象	間接	争業有			要素となる事	<b>来</b> 名		(延	長・面積等)	市町村名	H23	H24	H25	H26	H27	(百万円)	
12-A-1 河川	一般	横浜市	直接	横浜市		準用:	河川改修事業 準	用河川日	野川	護片	岸整備 L=190m	横浜市						384	地域自主戦略
													+				<del>                                     </del>		交付金含む
12-A-1 地域生活 基盤施設		横浜市	直接	横浜市			港南一丁目緑地園	医備事業		緑地	整備 A=0.34ha	横浜市					<u> </u>	147	
12-A-1 高質空間 形成施設	一般	横浜市	直接	横浜市		E	野川プロムナー	・整備事	業	プロムナ	トード整備 L=200m	横浜市						26	
12-A-1 事業活用 調査		横浜市	直接	横浜市			日野川整備検討	寸調 杳		检	討調査委託	横浜市						1	提案事業
	/2/	DVDV-14		12712711						1/		2000	1				4		*->/\ J. >/\

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

#### 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況 I定量的指標に関連する ネック部を河川改修したことで、治水安全度の向上が図られた。 河川沿い通路の供用ができなかったため、水のネットワークの充実を図れなかった。 交付対象事業の効果の発現状況 90㎡/秒 最終目標値 指標① (河川の Ⅱ定量的指標の達成状況 目標値と実績値 流下能力) に差が出た要因 最終実績値 90㎡/秒 最終目標値 1,420m 指標②(水の ∃標値と実績値 ネットワーク整 に差が出た要因 備量) 最終実績値

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が高まった。 日野川整備にあたり、地域住民の意見を取り入れるためワークショップを行ったことにより、地域住民の日野川への関心が高まっている。

#### 3. 学識経験者の意見

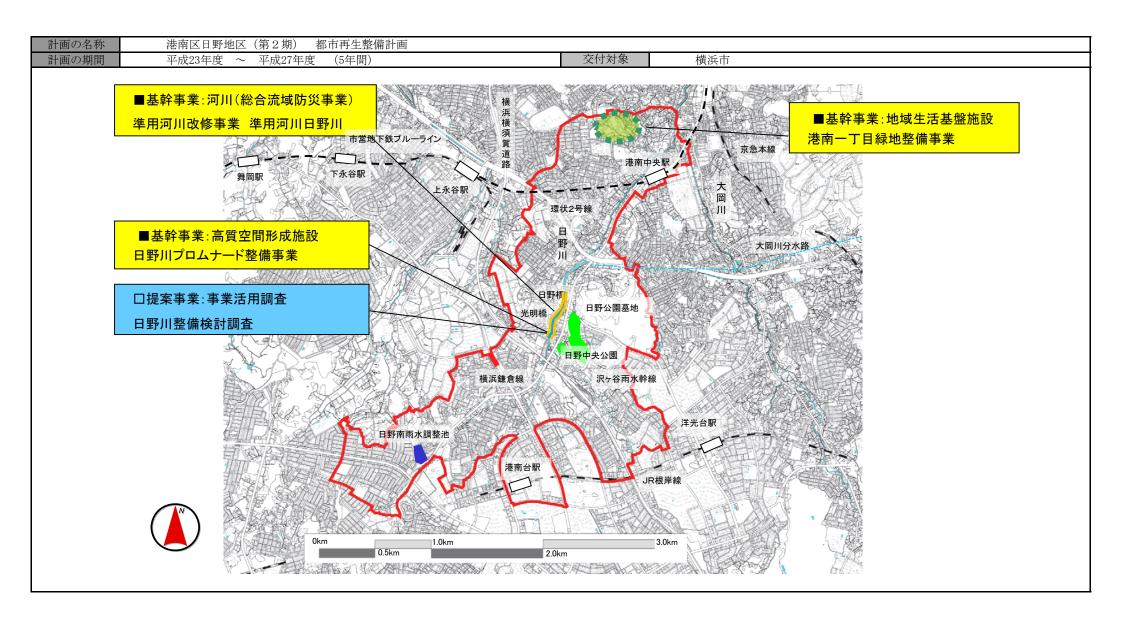
指標①については、事業効果があったものと認められます。

指標②については、事業未了ということですが、日野川への地域住民の関心の高まりとともに事業完成への期待も大きいと思います。

引き続き河川改修を進めると同時に、暮らしの中の貴重な水空間としての河川を考慮した水と緑のネットワークの整備を進めていくことを期待します。

#### 4. 特記事項(今後の方針等)

準用河川日野川の治水安全度の向上と水と緑のネットワークの充実を図るため、防災・安全交付金事業の総合流域防災事業で、引き続き護岸改修を推進し、事業の早期完成を目指します。



# 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川	県	市町村	1名		横浜市		t	也区名		港南区日	3野地区(第2期	)	面積	489ha
交付期間	平成23年度~	平成27年度	事後評価実	<b>E施時期</b>	3	平成29年度	Ę	交付対	付象事業費		898百万円	国費率	0.4		
										事業名					
	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業			: 準用河川日野 ・川プロムナード動										
	天旭 ひた 事来	提案事業			- <del></del> - 1114					MATA OF	La a em l		Neigh of Late 1		
		l			事業	:名				削除/追	加の理由		削除/追加による	目標、指標、数值	日標への影響
1)事業の実施状況	当初計画から	基幹事業	なし												
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	削除した事業	提案事業	【地域創造支援	爰事業】日野	·川環境整備事業	ŧ			準用河川日野川 る日野川環境整め。				影響なし		
	新たに追加し	基幹事業	【地域生活基盤	盤施設】港南	一丁目緑地整備	事業			計画目標である、 存緑地を保全す。	、「緑のネットワー る緑地整備事業	-クの形成」の推議 を追加した。	進を図るため、既	影響なし		
	た事業	提案事業	【事業活用調査	<b>查】</b> 日野川整	備検討調査				計画目標である、 のプロムナードや を検討するための	水辺広場の整備	備にあたり、市民	旨し、日野川沿い とともに整備内容	影響なし		
	交付期間	当 初		なし		交付期	間の変更による	る事業、							
	の変更	変 更		なし		指標	、数値目標への	)影響							
		指 標	-	単位	従前個	直 基準年度	目標化	<del></del>	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現 (総合所		フォローアップ 予定時期
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標	指標1	河川の流下旬		m3/秒	58	H22	90	H27末		90	0	あり なし	ネック部を河川改修した 度の向上が図られた。	ことで、治水安全	-
の達成状況	指標2	水のネットワー	一ク整備量	m	1,120	H22	1,420	H27末		_	×		河川沿い通路の供用かめ、水のネットワークの た。		
	緑地保全制度によ 日野川整備にあた									<b>5</b> .	1		ı		

# 様式2-2 地区の概要

# 港南区日野地区(第2期)(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要 まちづくりの日標 目標を定量化する指標 従前値 日標値 評価値 58 H22 90 H27 90 H28 河川の流下能力 単位:m3/秒 ・地区内を流れる日野川の治水安全度を向上させる ・日野川を活かした水のネットワークと、日野公園墓地、日野中央公園などとの緑のネットワークを形成する 水のネットワーク整備量 単位:m 1,120 H22 1,420 H27 - H28 市民協働でまちづくりを進める 日野川改修 ■基幹事業:河川(総合流域防災事業) 港南一丁目緑地 ■基幹事業:地域生活基盤施設 準用河川改修事業 準用河川日野川 港南一丁目緑地整備事業 環状2号線 ■基幹事業:高質空間形成施設 日野川プロムナード整備事業 □提案事業:事業活用調査 日野公園墓地 日野川整備検討調査 日野川整備検討調査 日野川プロムナード 日野中央公園 沢ヶ谷雨水幹線 日野南雨水調整 課題1:自転車や歩行者の快適な空間が求められている→河川沿い通路の供用延長の延伸はできなかったが、既に供用している通路において高質空間化が図られ、自転車や歩行者の快適な空間を形成することができた。 課題2:近年台風などの大雨時には浸水被害が発生しているため、早期の河川改修が望まれている→準用河川日野川のネック部を河川改修したことで、治水安全度の向上が図られた。 まちの課題の変化

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む) 準用河川日野川の治水安全度向上と水と緑のネットワークの充実を図るため、防災・安全交付金事業の総合流域防災事業で、引き続き上流部の護岸改修及び河川沿い通路の整備を推進し、事業の早期完成を目指します。

# 社会資本総合整備計画 中間評価書(都市再生整備計画 事後評価書)

平成29年3月24日

																	1 /2	410   0/11	
地区の名称		1 47		() [, //	引) 都市再生		事業	-		Ţ.									
交付の期間 計画の目標		平成23年	三度 ~	平成27年	<u> </u>	])			交付対象		横浜市								
可凹り口伝																			
阿久和	川、和泉川	川、相沢川	川周辺の	水と緑のヨ	環境資源を保	全・活用	し、これら	をネットワ	フーク化するこ	とで、誰	もが身近に水と緑の	0環境を親しめ	る、安らき	のある生	活環境を	整備・保	全する。		
計画の成果	.日煙 (定長	量的指煙)																	
			## ) 1 lo			I+ 28 A.I.I.I		. L	5 -# V - A - L		W ) - 1 10 = F/m 1 w	/o.o.= 1. /b=	0.0= 1 (/=)						
<ul><li>相次</li><li>相次</li></ul>	川水辺広り  川プロム-	易等の整値 ナード空∂	雨により、 か敕備に	、水と緑(	心親しめる塚 行者ネットロ	現か割出	1されたこと 3成が図られ	を、水辺3	変護店期に参加 レた歩行者な通	山する人の 6畳により	数により評価する。 評価する。(167人	(365人/年→	·365人/年) ik)						
											状況を確認すること			→28人/年)	)				
定量的指標	の定義及び	び算定式		l								定量	量的指標の理	現況値及び	ド目標値			/#: +z.	
				4								当初現況値	中間	目標値	最終	目標値		備考	
① 相沢川	の愛護活動	動に参加す	する人の	数(延	べ人数)							(H21当初)			(H2	7末)			
												365人/年		/	365	人/年			
( taxa (	LWVV	カチンス/ニニ	トッドない	サ. の ¥L								(H22当初)							
② 相次川	沿いの通距	合を囲行う	りる歩行る	有の剱											1	7末)			
												167人/9h			183,	人/9h			
③ 緑の拠	l点で保全/	舌動を行っ	った人の	数(市」	民団体の構成	員数)						(H22当初)			(27	'末)			
												25人/年			28 /	〈/年			
								_			1				20)	<b>C</b> / 1			
全体事業	<b></b>	合	計 3 + C)	91	0 A	A	910	В	_	С	_		生事業費の				0.0%		
		(A + E	3 + C)									(A (提案分) +	+C) / (A	X + B + C					
									(A)	( ) ===	otops (cont.)								
	. BB 37 (m)	a + 1.6-11.4		-L- Hr				事 往	炎 評 価	(中間	評 価)								
○事後評価(中			川、実施地	<del></del>						古公司	(大田志石) の	/ <del></del>							
事後評価(中間	評価) のま	<b> E M M M M M M M M M M</b>		j						争俊計	価(中間評価)の	<b>美</b> 胞時期	事後評	価:平成2	7年度末時	<b></b>			
評価の透明性、	を組み /	人 <i>て キ た ね</i>	た伊士スラ	たみ 学記	<b>単紅転≠まれ</b>	わた証価	お宝佐1ま	1 1-		ハギの	\ <del>+</del> \ \ +								
許価の透明性、	谷既注、2	公正さを何	田木り 〇 /	にめ、子前	既辞釈有を八.	4 U/こ計1Ⅲ	を 夫肔 しよ	U/Co		公表の	)方法		構派市	ホームペー	- 32				
													יוי אואוי	71. 27 .	~				
1. 交付対象事	業の進捗状	犬況																	
交付対象事業	【阿久和	・宮沢地区	☑(第2៎	期)都市評	再生整備計画:	事業】													
A1 基盤事業																			
番号 事業	地域	交付	直接	±-₩-±.			亜 士 しょ、ッマ	古光力			事業内容	+		事業実	施期間(	(年度)		全体事業費	備考
種別	種別	対象	間接	事業者			要素となる	事業名		(	延長・面積等)	市町村名	H23	H24	H25	H26	H27	(百万円)	
12-A-2 地域生活	活 一般	横浜市	直接	横浜市			新橋緑地整備	告重業			緑地 3.3ha	横浜市						478	
12-A-2 基盤施記	設	15世代川	旦佞	快供川			かけ同水地電池	加尹禾			水が J. Jiid	7英代刊						418	
12-A-2 地域生活 基盤施言		横浜市	直接	横浜市		相步	マ川水辺広場	整備事業			広場 1箇所	横浜市						403	
	玟		'							_									
12-A-2 高質空間 形成施詞	間 設 一般	横浜市	直接	横浜市		相沢川	プロムナー	・ド整備事	業	プロ	ムナード 246m	横浜市			-			29	
712 79 40 21															t				
	1		1	<u> </u>									1	1	合計	1		910	

### 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

### I定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・相沢川プロムナード等の整備により水と緑に親しめる歩行者ネットワークが図られ、利用者数が増加した。
- ・残された貴重な緑地を指定・取得し、市民の森として整備することにより、まとまりのある森を保全するとともに、市民と協働による生物多様性・安全性に配慮 した「森づくり」が可能となった。

### Ⅱ定量的指標の達成状況

※延べ人数
指標②(プロム ナード利用者 数)
指標③(緑の保 全活動人数) ※市民団体の構 成員数

護活動への参加

者数)

指標①(水辺愛 最終目標値 365人/年 目標値と実績値 当該水辺愛護会が平成24年度をもって解散したため最終実績値を評価することができなかった。 に差が出た要因 なお、新たな水辺愛護会の発足に向けて地元住民と現在調整中である。 最終実績値

> 最終目標値 183人/9h 最終実績値 279人/9h

目標値と実績値 水と緑に親しめるネットワークが整備されたことにより、生活道路として利便性が向上したほか、健康 に差が出た要因 志向の高まりからウォーキングに利用する市民が増加した。

最終目標値 28人/年 最終実績値 100人/年

目標値と実績値 多くの地域住民の幅広い活動への参画など、協力を得られたことにより、活動人数が増加した。 に差が出た要因 なお、活動人数は延べ約400人/年である。

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

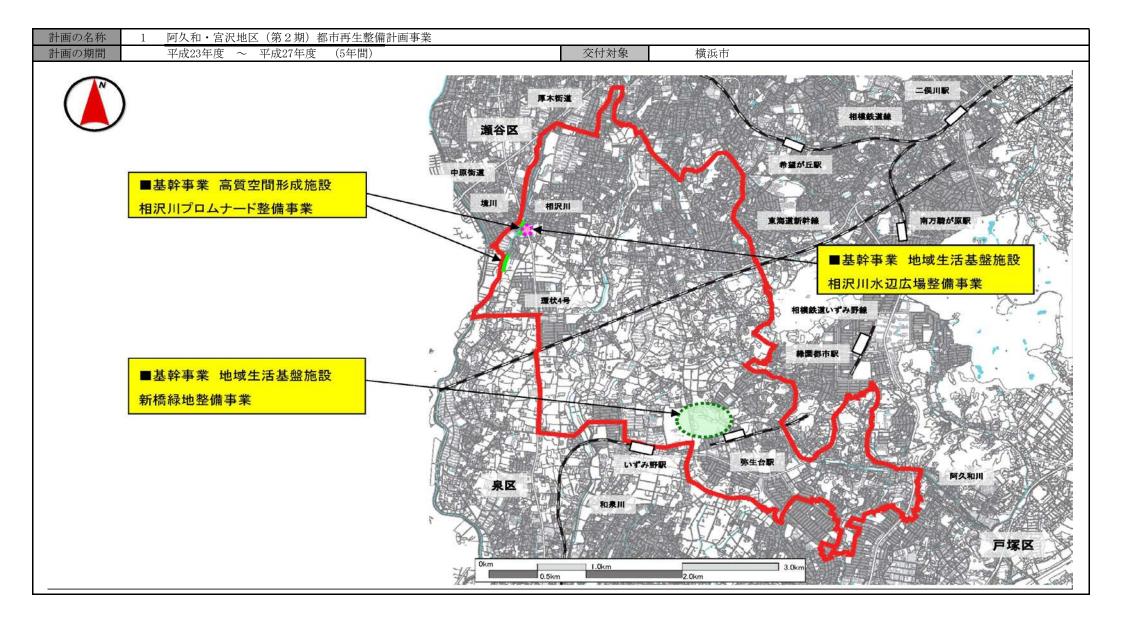
- ・相沢川水辺広場を大規模災害時における水防活動拠点としての利用を想定している。
- ・相沢川水辺広場を災害時における「いっとき避難場所」として地元自治会で利用してる。
- ・新橋緑地(新橋市民の森)を地域住民が巡回点検や樹林地管理、観察会といった活動に関わることにより、地域に新たなつながりが生まれている。 また、相鉄線弥生台駅から近いため多くの市民が憩いの場を求めて訪れている。

#### 3. 学識経験者の意見

本事業の効果は認められる。水辺愛護会・市民団体などの協力を得ながら多くの市民の憩いの場となるような効果的な運営を期待する。

### 4. 特記事項(今後の方針等)

- ・市民協働を図るために水辺愛護会発足に向けて地元調整を続けていく。
- ・引き続き市民協働による「森づくり」を続けていく。



亚成30年 3月19日

							- וייום	117751/111	1 124 -	子   及   四   四   日									平成。	30年 3月19日
地区の					2地区(第		- HH.					145 - 1.								
交付の計画の	7 7 4 11.14		平成24年		平成28年	- 度 (5年	年間)			交付対象		横浜市								
11111	豊かな環 ①緑地 ②舞岡	2の保全や 引川沿いに	水辺広場にプロムラ	易の整備を	を行い、鬼 整備し、想	ま力ある水	<ul><li>・緑環</li></ul>	安全・安心のまた 境づくりを進める クを拡充する。		き進める。										
計画	の成果目	標(定量	と的指標)																	
	舞岡川ブ	゜ロムナー	- ドの整備	<b>帯により、</b>	快適で利	川便性の高	い歩行		プロムナー	(32.5ha→32.7 -ド〜歩行者を移 →30m3/秒)		(0%→67%)								
定量	的指標の	定義及び	が算定式											り指標の現					備考	
													当初現況値 (H23当初)	中間	目標値	最終 E (H28		<del> </del>	- VIII 3	
1	樹林地の	保全面積	貞										32. 5ha				7ha			
<u></u>	°> -1-	- 1° - a	\ IE.4==±4	为公式														1		
(2)	ノロムア	r ~ 0	)歩行者和	多仃学									(H23当初) 0%	_			<u>3末)</u> 7%	1		
(3)	舞岡川の	流下能力	7										(H23当初)			(H28	•	1		
O	711 77 1 - Vie 1 11 - 2 - V												10m3/秒			30m3	3/秒			
^	全体事業費 (A										C		効果促進3	事業費の害	合			0.0	0/	
至	全体事業費 (A+B+C) 2,257 A 2,257 B									_	С	_	(A (提案分) +C	) / (A	+B+C			0.0	//0	
									事	後評価	(中間	評 価)								
○事後評	価(中間	]評価) 🗷	実施体制	引、実施問	寺期					, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		E I III								
事後評価	(中間評	価)の集	尾施体制								事後評価	mの実施時期		東谷証品	· 元成9	8年度末時	生占			
														尹 区 川 川	11 .   120.2	0十及次下	1 1/1/2			
評価の透	明性、客	観性、公	公正さを確	<b>催保する</b> た	とめ、学調	<b>桜殿者を</b>	入れた記	評価を実施しまし	た。		公表の力	5法		横浜市才	<b>ニームペー</b>	ージ				
1. 交付:	対象事業	の進捗状	 :況																	
交付対象																				
A1 基盤		社会資本	整備総合	交付金)																
番号	事業	地域	交付	直接	事業者			要素となる	主業夕			事業内容	市町村名		事業実	施期間(	年度)		全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接	ず未石			女糸となる。	并未石		(延	長・面積等)	11111111111111	H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	
12-A-3	道路	一般	横浜市	直接	横浜市			舞岡橋			舞	岡橋架替拡幅	横浜市					<u> </u>		地域自主戦略 交付金含む
12-A-3	公園	一般	横浜市	直接	横浜市		(仮和	你) 舞岡緑地公園	【舞岡町	公園】	用	地取得 7ha	横浜市					<u> </u>	1, 654	
12-A-3		一般	横浜市	直接	横浜市		準用	河川改修事業 🧵	<b>準用河川</b> 舞	舞岡川		上整備 L=243m	横浜市						402	地域自主戦略 交付金含む
12-A-3	地域生活基盤施設	一般	横浜市	直接	横浜市		舞岡緑地整備事業					也取得 0.6ha ·部整備工事	横浜市	,				<u> </u>	130	
12 A 3	地域生活 基盤施設 京歴空間	一般	横浜市	直接	横浜市			舞岡川水辺広場				設計委託	横浜市					<del>                                     </del>	10	
	高質空間 形成施設	一般	横浜市	直接	横浜市		舞岡川プロムナード整備事業					_	横浜市					<del>                                     </del>	0	
12-A-3	事業活用 調査	一般	横浜市	直接	横浜市		4	生物相等調査 舞	岡川流域	等		_	横浜市			<b>∆</b> ∌I.		<u> </u>		提案事業
																合計			2, 257	

#### 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況 緑地整備事業の進捗により、市街地における緑地の保全が進んだ。 I定量的指標に関連する 河川沿いのプロムナード整備が進まず、歩行空間の確保が図れなかった。 交付対象事業の効果の発現状況 ネック部を河川改修したことで、治水安全度の向上が図られた。 最終目標値 32.7ha 指標①(樹林地 Ⅱ定量的指標の達成状況 目標値と実績値 緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が想定以上のため。 の保全面積) に差が出た要因 最終実績値 36.8ha 67% 最終目標値 指標②(プロム 目標値と実績値 ナードへの歩行 に差が出た要因 者移行率) 最終実績値 最終目標値 30m3/秒 指標③ (舞岡川 目標値と実績値

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が高まった。 低水路の整備や護岸に植生機能を持つブロックを活用するなど、多自然な河川環境の整備が進んだ。

### 3. 学識経験者の意見

指標①③については、事業効果があったものと認められます。

の流下能力)

|指標②については、事業未了ということですが、できるだけ早期に完成するよう着実な事業推進を期待します。

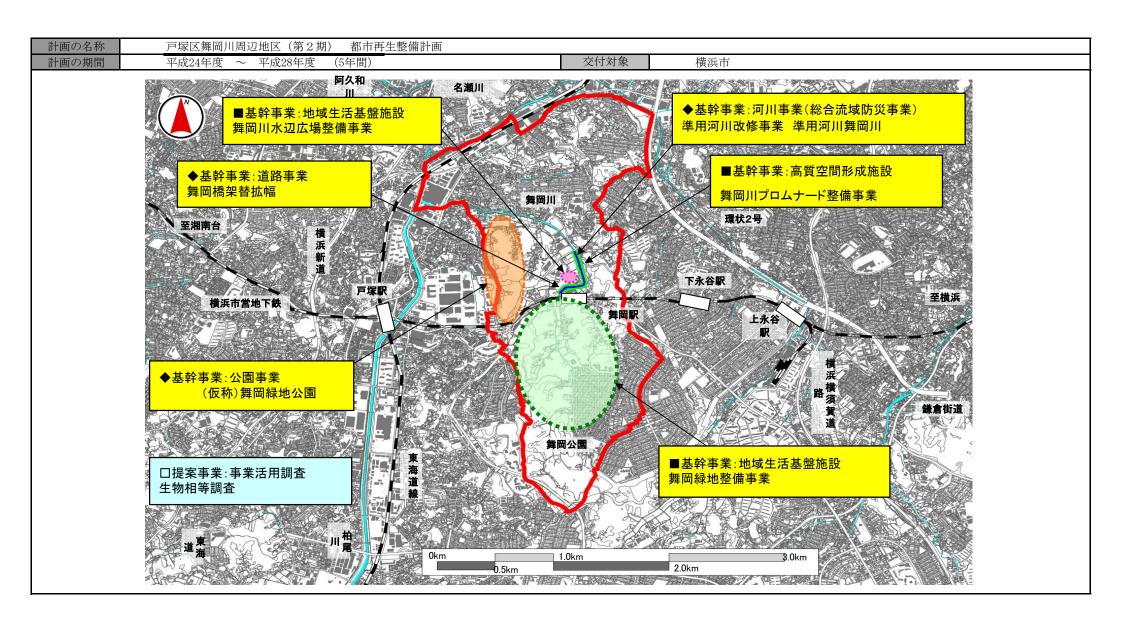
最終実績値

### 4. 特記事項 (今後の方針等)

準用河川舞岡川の治水安全度の向上と河川沿いの歩行空間を確保するため、防災・安全交付金事業の総合流域防災事業で、引き続き上流部の護岸改修及び河川沿い通路の整備を推進し、事業の早期完成を目指します。

に差が出た要因

30m3/秒



# 様式2-1 評価結果のまとめ

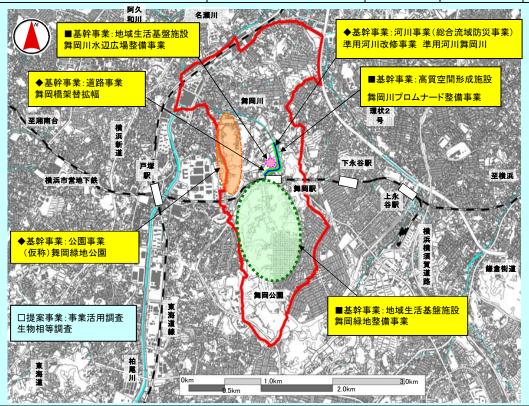
都道府県名	神奈川	県	市町	村名		横浜市		±	也区名		戸塚区舞岡	川周辺地区(第:	2期)	面積	451ha
交付期間	平成24年度~		事後評価		:	平成29年度	<b>+</b>		対象事業費		3.683百万円		0.4		
人门初间	1 1002 1 100	1%L0   1%	子区川區.	X/16+1741		1 /2/20 1 /3		~117	]苏于木克	± # 5	о,осо д уут 1	口菜干	0.4		
	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	【地域生活基	可川改修事業 盤施設】舞岡	: 準用河川舞岡 緑地整備事業、  川プロムナード	舞岡川水辺	広場整備事業			事業名					
	大肥した事末	提案事業			調査(舞岡川流										
					事業	名				削除/追	別の理由		削除/追加による	目標、指標、数値	目標への影響
1)事業の実施状況	当初計画 から 削除した	基幹事業	【地域生活基	盤施設】下永	谷緑地整備事業	ŧ			用地交渉の難航した。	により、事業進	歩が見込めないた	≤め、事業を削除	影響なし		
	事業	提案事業	なし												
	新たに追加し	基幹事業	【公園】(仮称	)舞岡緑地公	園				計画目標である。 園事業を追加し		環境づくりの推進	き図るため、公	影響なし		
	た事業	提案事業	なし												
	交付期間	当 初		なし		交付期	間の変更による	5事業、							
	の変更	変 更		なし		指標	、数値目標への	影響							
		指 標		単位	従前	直 基準年度	目標信	直 目標年度		値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現 (総合所		フォローアップ 予定時期
2)都市再生整備計画 に記載した目標を	指標1	樹林地の保全	全面積	ha	32.5	H23 当初	32.7	H28末		36.8	0		緑地保全制度等により 地の面積が想定以上の		-
定量化する指標 の達成状況		プロムナード 移行率	への歩行者	%	0	H23 当初	67	H28末		-	×	なし ●	河川沿いのプロムナー  用できなかったため。		
		舞岡川の流		m3/秒	10	H23 当初	30	H28末		30	0	あり なし	ネック部を河川改修した 度の向上が図られた。	ことで、治水安全	-
	緑地保全制度によ 低水路の整備や護							9多様な機能	が高まった。						

# 様式2-2 地区の概要

#### 戸塚区舞岡川周辺地区(第2期)(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 日標値 評価値 樹林地の保全面積 単位:ha 32.5 H23 32.7 H28 36.8 H28 豊かな環境資源を活かしたまちづくり、誰もが暮らしやすい安全・安心のまちづくりを進める。 ①緑地の保全や水辺広場の整備を行い、魅力ある水・緑環境づくりを進める。 プロムナードへの歩行者移行率 単位:% 0 H23 67 H28 - H28 ②舞岡川沿いにプロムナードを整備し、歩行者ネットワークを拡充する。 ③舞岡川の治水安全度を向上させる。 10 H23 舞岡川の流下能力 単位:m3/秒 30 H28 30 H28











|課題1:周辺の都市化の進展を踏まえ、舞岡の環境資源を保全する必要がある。→緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が増えた。

課題2:安心・快適な歩行空間が求められている。→舞岡川沿いのプロムナード整備が進まず、歩行空間の確保が図れなかった。

まちの課題の変化 課題3:近年、多発する台風や豪雨による浸水被害を軽減する方策が求められている。→準用舞岡川のネック部を河川改修したことで、治水安全度の向上が図られた。

準用河川舞岡川の治水安全度の向上と河川沿いの歩行空間を確保するため、防災・安全交付金事業の総合流域防災事業で、引き続き上流部の護岸改修及び河川沿い通路の整備を推進し、事業の早期完成を目指します。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

# 郑市再生敕備計画 事後誣価書

合計

463

					41111	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	四 =	尹汝計Ш吉									平成30	年 3月19日
地区の名称		黒須田川	周辺地	区(第2期)														
交付の期間		平成24年	ド度 ~	平成28年度	(5年間)			交付対象		横浜市								
計画の目標																		
						のネットワークの			るまちづく	くりを推進する。								
						かな川辺のプロム				· ( ) ·								
						自然環境を整える	ことで、	親しみやすい河	川空間を力	<b>彡成する。</b>								
3 X Y	つづくり言	計画を用!	大との協作	働により実現さ	せる。													
計画の成果目	1標(定量	量的指標)																
プロムナ	トード整備	#等により	の水と緑	のネットワーク	を拡充する	ことで、プロムナ	ード利用	者数の増加を図	る。(172	人/h→189人/h)								
						け、環境資源を保												
定量的指標の	つ定義及び	び算定式									,	り指標の現	D = II - /2 + -	1 - 54 - 15			備考	
											当初現況値	中間	目標値		目標値		VIII J	
①プロムナ	トニ じチIIF	日之米									(H23当初)			(H2)	8末)	-		
	/ I` TIJ	11日 奴									172人/10h	<b> </b>		189人	$./10\mathrm{h}$			
② 樹林地の	り保全面類	吉									(H23当初)			(H2)	8末)	ł		
	> M ш1,	*									26. 9ha			,	2ha			
人人士光	全体事業費																	
至 件 争 来 1	賃	(A+1)	B+C)	403	Α	403	Б	_		_	(A(提案分)+C	) / (A-	+B+C			28.07	0	
							事	後評価(	中間	平 価)								
○事後評価(中間	引評価) 0	の実施体制	引、実施問															
事後評価(中間評			.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						事後評価	の実施時期								
2 DOLL IN ( 1 1/34	1 11-47	476 TT 114		1					7 500111			事後評価	6:平成2	8年度末時	寺点			
評価の透明性、零	を観性、2	公正さを確	催保する?	ため、学識経験	者を入れた	評価を実施しまし	た。		公表の力	· 注								
									AX *27.	114		横浜市ホ	ニームペー	-ジ				
1. 交付対象事業	との進捗 と	犬況																
交付対象事業																		
A1 基盤事業																		
番号 事業	地域	交付	直接	事業者		要素となる事	坐夕			事業内容	市町村名		事業実	施期間(	(年度)		全体事業費	備考
種別	種別	対象	間接	争果有		安系となる事	来名		(延	長・面積等)		H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	
10 / 4 地域生活	一般	横浜市	直接	横浜市		寺家緑地整備	車業		田州	取得 0.28ha	横浜市						4.G	
12-A-4 基盤	一为又	(世代)	旦街	(世代)		寸	尹禾		用地	以行 0. 2011a	供供申						46	
12-A-4 地域生活	一般	横浜市	直接	横浜市		恩田緑地整備	車業			取得 1.09ha	横浜市				1		210	
<b>奉</b>	,	TELECTIVE	正政	TM FXI III		心口冰远正师	17/		_	部整備工事	IXIN II				<u> </u>	<u> </u>	210	
12-A-4 地域生活	一般	横浜市	直接	横浜市		奈良川水辺広場	整備事業		水辺辺	広場整備 1 箇所	横浜市						50	
<b>基</b> 監		12(12(1))	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	DOUGH		77.20 17.102.20	- VIII 7 //C				200				<b>└</b>	<u> </u>		
12-A-4 高質空間 形成施設	一般	横浜市	直接	横浜市	黒	須田川プロムナー	・ド整備事	業	プロ	ムナード整備	横浜市				<b></b>	4 '	27	
			,	-					恭辛	L=218m 工改修1箇所					—	<del>                                     </del>		
12-A-4 地域創造 支援事業	一般	横浜市	直接	横浜市		黒須田川環境整	備事業			工以修 1 固別 水路工46m	横浜市				1		14	提案事業
		Labora 1		146 > 1		1. 3. may 10.1 5.2 0.	- vi //-	T1.\		アプラザ整備1箇	L# \				<del>                                     </del>			
12-A-4 地域創造 支援事業	一般	横浜市	直接	横浜市	す	すき野地域ケアプ	フサ(仮	杯)		所	横浜市						116	提案事業

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

#### 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況 I 定量的指標に関連する 河川沿いのプロムナード整備を進めたが、一部未供用で通り抜けできない箇所があるため、利用者数の増加につながらなかった。 緑地整備事業の進捗により、市街地における緑地の保全が進んだ。 交付対象事業の効果の発現状況 最終目標値 189人/10h 指標①(プロム Ⅱ定量的指標の達成状況 目標値と実績値 ナード利用者 に差が出た要因 数) 最終実績値 最終目標値 38. 2ha 指標②(樹林地 目標値と実績値 緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が想定以上のため。 の保全面積) に差が出た要因 最終実績値 53.0ha

(必要に応じて記述)

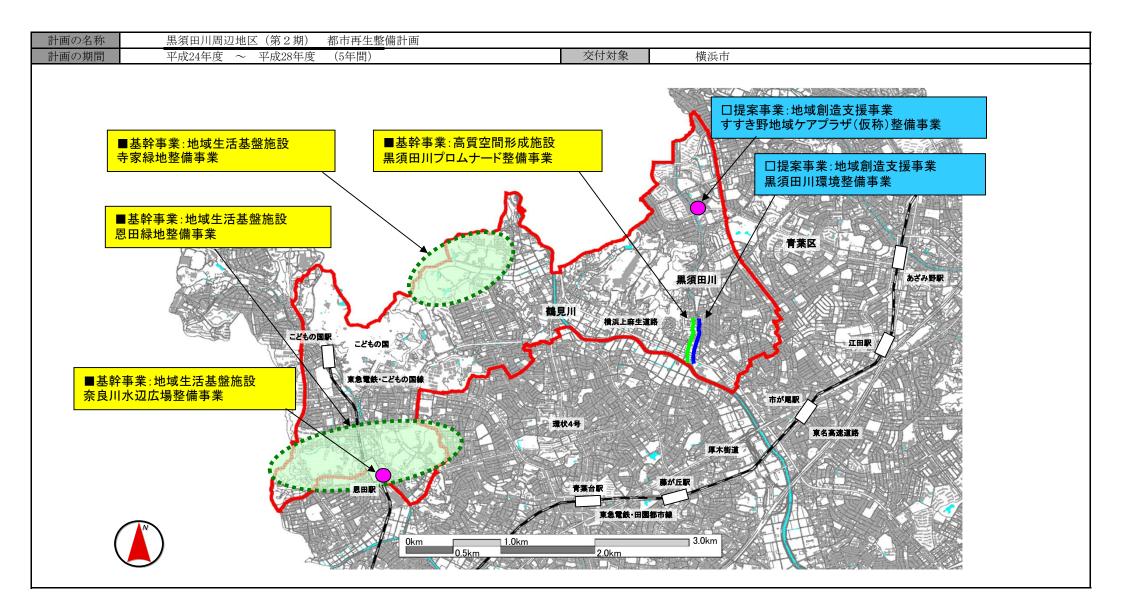
緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が高まった。 皿定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 地域ケアプラザが整備されたことにより、地域住民から「地元で充実した活動ができるようになった」との声が届いている。また、身近な場所に活動の場が確保された ことにより、地域住民が自ら行う生活環境向上のための活動への参加者数が増加するなど、地域福祉活動の活性化が図られている。

### |3. 学識経験者の意見

指標①については、事業未了ということですが、事業完了後に改めて事業効果の発現状況を検証することが必要だと考えます。 指標②については、事業効果があったものと認められます。

### 4. 特記事項 (今後の方針等)

- ・親しみやすい河川空間を形成するため、引き続き黒須田川プロムナードの整備を推進する。
- ・すすき野地域ケアプラザは28年12月に新設された施設であり、今後も地域における福祉ニーズの把握を継続的に行うとともに、地域課題を地域の方と共有し、必要な支援や情報提供を行っていく。

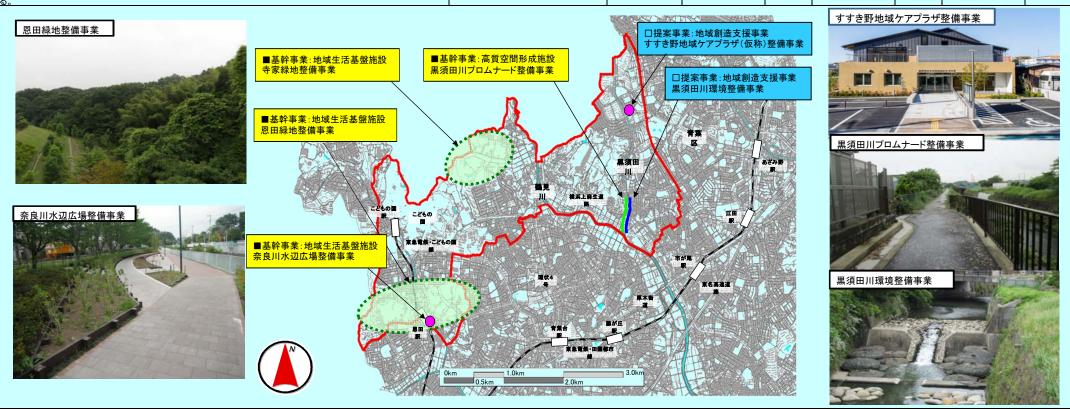


# 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名						t	也区名		黒須田川	周辺地区(第2期	月)	面積	917ha		
交付期間	平成24年度~平	成28年度	事後評価男	<b> </b>	3	平成29年度		交付兌	対象事業費		632百万円	国費率	0.4		
										事業名					
	当初計画に 位置づけ、 実施した事業				緑地整備事業、 [田川プロムナー		備事業、奈良川ス	水辺広場整	備事業						
		提案事業	【地域創造支持	爰事業】黒須	田川環境整備事	業									
					事業	名				削除/追	加の理由		削除/追加による	目標、指標、数値	目標への影響
1)事業の実施状況	当初計画 から 削除した	基幹事業	なし												
	事業	提案事業	なし												
	新たに追加し	基幹事業	なし												
	た事業	提案事業	【地域創造支持	爰事業】すす	き野地域ケアプ	ラザ(仮称)			市民活動のネッとなる「すすき野	トワークづくりの- 地域ケアプラザ(	-環として、地域? 仮称)」の整備事	舌動・交流等の場 業の追加	影響なし		
	交付期間	当 初		なし		交付期	間の変更による	5事業、							
	の変更	変 更		なし		指標、	、数値目標への	影響							
		指 標		単位	従前個	直 基準年度	目標化	直 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現 (総合所		フォローアップ 予定時期
2)都市再生整備計画 に記載した目標を	指標1	プロムナード	:	人/10h	172	H23 当初	189	H28末		_ 	×	あり なし ●	プロムナードの一部がオ 用者数の増加につなが	k供用のため、利	
定量化する指標 の達成状況	指標2	樹林地の保全	全面積	ha	26.9	H23 当初	38.2	H28末		53	0	あり なし	緑地保全制度等により 地の面積が想定以上の		-
	指標3											あり なし			
4)定性的な効果 発現状況	緑地保全制度によ 地域ケアプラザが動 るなど、地域福祉活	整備されたこと	<b>∸</b> により、地域住	民から「地方						場所に活動の場	が確保されたこと		が自ら行う生活環境向上	このための活動への	の参加者数が増加す

## 様式2-2 地区の概要

#### 黒須田川周辺地区(第2期)(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 日標値 評価値 川辺のブロムナードや公園、樹林地などが一体となる水と緑のネットワークの拡充を図り、うるおいあるまちづくりを推 172 H23 189 H28 プロムナードへの利用者数 単位:人/10h 進する。 26.9 H23 樹林地の保全面積 単位:ha 38.2 H28 53.0 H28 ①地区内の緑地を保全するとともに、黒須田川沿いに緑豊かな川辺のプロムナードを整備する。 ②低水路や親水拠点等、環境整備を推進し、豊かな河川の自然環境を整えることで、親しみやすい河川空間を形成



課題1:地区内の「水と緑のネットワーク」の拡充を図るため、プロムナードの連続性の確保および緑地の保全等が必要となっている。→緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が増え、緑地保全が進展している。プロムナー ド整備は一部進んだが、未整備区間があり連続性の確保が引き続き課題となっている。

まちの課題の変化

課題2:黒須田川の下流部では、河床をコンクリートで覆った区間が続き、河川の自然環境が整えられていないことから、親しみやすい河川空間の形成が必要となっている。→河床及び落差工を改良したことにより、よどみや強弱の ある、多様な流れが生まれ、生物の生息環境の再生が図られている。

課題3:市民活動のネットワークづくりを進めるため、情報提供や様々な活動団体の交流を支援する場の提供が必要となっている。→地域ケアプラザが整備されたことにより、市民の地域活動や交流の拠点、情報提供の場が完成し

・親しみやすい河川空間を形成するため、引き続き黒須田川プロムナードの整備を推進する。

・すすき野地域ケアプラザは28年12月に新設された施設であり、今後も地域における福祉ニーズの把握を継続的に行うとともに、地域課題を地域の方と共有し、必要な支援や情報提供を行っていく。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

平成 30 年 3 月 30 日

合計

1, 437

									4 12411										1 /3/4 (	70 T 0	)1 00 F
地区の名称		三保・新	行治周辺均	也区																	
計画の期間	平成24年	度 ~	平成28年	F度 (5:	年間)	交付の期	間 平成	24年度 ~	~ 平成20	6年度	(3年間)	交付対象	象	横浜市							
計画の目標																					
横浜	市の緑のも	:大拠点の	)ーつ、	「三保・翁	所治地区」	と梅田川と	とを結ぶ水	と緑のネッ	ットワーク	の構築を	を目指して、	、地区内の緑	地やフ	水辺、農地、歴史	的建造物	等の地域	資源や水	:辺の楽材	シプロジェ	クト等の	資産を
最大限	に活用した 任性ルを低	ながら、引	万民と協信	動して里↓	山の自然環	境を楽しみ	メ、体験、	学習、交別	<b></b>	の里山笠	空間を保全	・創造するこ	とで、	、地域の環境アメ	ニティの	向上、レ	クリエー	ションの	り場の創出	はを図るこ	とで、
計画の成果																					
			- とにより	I n 緑の漏	載少に 歯止	めをかけ	環境資源	を保全する	5. (127	3ha→15	Oha)										
												行われている	。(2	2,009人/年→2,20	9人/年)						
若葉台	地区センタ	ノーのエレ	/ベター記	没置による	る利便性を	·評価する。	(満足・	まあ満足	0%→50%	%)											
定量的指標の	の定義及で	が 会 式		I										定量的	指標の現	温値及び	日樗値				
厂 里门 门市 小	グル裁グし	がたと		l										当初現況値	中間目		最終	目標値		備考	
														(H23当初)			(H28	3末)			
<ul><li>① 樹林地(</li></ul>	の保全面積	責												127. 3ha	_		150	0ha			
		<b>.</b>	(1	4 mm) - ~																	
② にいは?	る里川父が	ሲセンター	- (旧奥)	革以) (2)木	引用者数									(H22当初)			`	3末)			
														2,009人/年			2, 209	人/年			
③ 地区セン	ンター利用	者の利用	用満足度											(H23当初)			(H20	5末)			
														満足・まあ満足				まあ満足 しょうしょう しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょ しょうしょう しょう			
														(0%)			(50	%)			
<b>今</b> 休東娄	合計								_	С	_		効果促進事	<b>薬費の割</b>	合			2.0%			
王仲尹未	+ 事業質 $(A+B+C)$ $1,437$ $A$ $1,437$ $B$								C	_		(A (提案分) +C)	/ (A+	+B+C			2.0%				
								事	後 評	価(	中間評	在)									
つ事後評価の実施	拖体制、美	<b>E施時期</b>																			
事後評価の実施の	本制										事後評価	五 (中間評価)	) の犭	<b>実施時期</b>	事後評価	・亚成29	8年度末日	<b>车占</b>			
															尹   及	. 1 /3/20	3 T /X / \ ''	a v//			
平価の透明性、乳	客観性、ク	公正さを確	催保する 7	とめ、学譜	微経験者を	入れた評価	ffを実施し₹	ました。			公表のフ	5法									
															横浜市ホ	ームペー	-ジ				
1 . 交付対象事	生の 准 排 出	2-3II																			
			L == +n += =	T 4 ま /# =	1 == + # 1																
<b>交付対象事業</b>	【二保・制	T冶周辺地	10区都市	<b>马</b> 生整備訂	†画爭業】																
A1 基盤事業 番号 事業	4-1411	-t- / I.	- <del>1</del> -1-7-									*** -				士业力		Fr rhs)			/++: - <del>1</del> -z
番号 事業 種別	地域種別	交付 対象	直接間接	事業者			要素となる	る事業名			(77	事業内容 長・面積等)		市町村名	H24	事業実 H25	施期間( H26	年度) H27	H28	全体事業費 (百万円)	備考
作里方门	作里力リ		則按								(処	:			П24	п⊿ә	П20	П21	П20	,,,,,,,	
12-A-5 公園	一般	横浜市	直接	横浜市		亲	所治里山公	園整備事業	<b></b>		用	地取得1.0ha		横浜市						256	
10 / 5 地域生活		Idda Sort - La		1445 >			→ /m ∧⊐ tut.=	**			47 DE	田 明 元 / 日 。 41		lette vers —Le							
12-A-5 基盤	一般	横浜市	直接	横浜市			三保緑地	整偏争美				用地取得1.4h	ha	横浜市						239	
12-A-5 地域生活	一般	横浜市	直接	横浜市			新治緑地	敕借車業			緑地月	月地取得2.6ha	a,	横浜市						725	
<b>左</b>		1英代川	旦1女	1英伏川			77日日88年11日	正畑尹禾				整備工事		7天1大11						120	
12-A-5 地域生活 基盤	域生活  一般   横浜市   直接   横浜市   長津田緑地整備事業						緑地	用地取得1.1h	ha	横浜市						189					
<b>基</b> 监	1											• •									
12-A-5 地域創造 支援事業	: 一般	横浜市	直接	横浜市			若葉台地区	【センター			エレベ	ニーター設置コ	匚事	横浜市						28	提案事業
文援事業		D(D()	×	12(12())								. ,, .,		2						20	
								-													

2. 事業効果の発現状況、目標値の	の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現料	犬況	若葉台地区センク	ターのエレベーターが設置。	され、バリアフリ	一化が図れた。
Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①(樹林地	最終目標値	150. 0ha	目標値と実績値	緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が想定以下のため。
	の保全面積)	最終実績値	139. 5ha	に差が出た要因	
	指標②(にいは る里山交流セン ター(旧奥津	最終目標値	2,209人/年	目標値と実績値	新治里山公園は平成24年4月に第2期エリア (約0.6ha) を開園し、広場や全天候型施設の「つどいの家」が作られたことにより、多くの方が里山文化を楽しみ、学ぶことができるようになった。さらに、平成25年4月に「にいはる里山交流センター」は、多くの市民や子供たちが森を訪れ、森を知るための拠点施設
	ター(旧英律 邸)の利用者 数)	最終実績値	5,850人/年	に差が出た要因	「ウエルカムセンター」として展示を整備し、季節ごとの見所などの情報発信や、自然に親しむためのイベント開催を行ったため、利用者数の増加につながった。
	ンター利用者の	最終目標値	満足・まあ満足(50%)	目標値と実績値	エレベーターの設置により、階の移動の利便性が向上した。
	利便性の満足 度)	最終実績値	満足・まあ満足(97%)	に差が出た要因	

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状⅓ (必要に応じて記述)

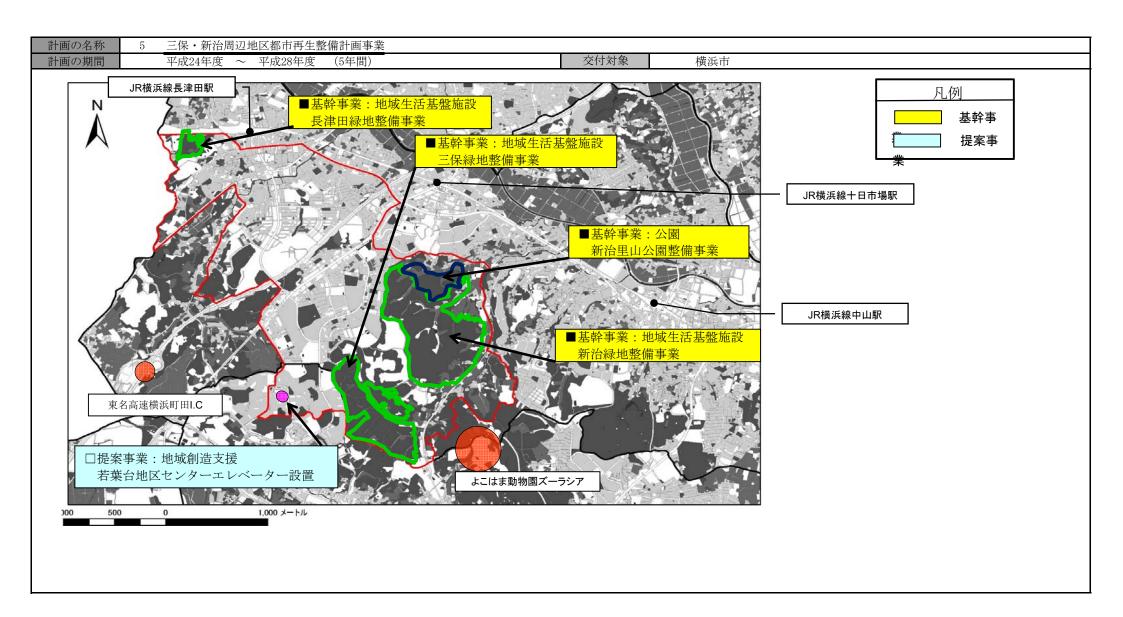
Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が高まった。

# 3. 学識経験者の意見

・引き続き、樹林地の保全を着実に進めてください

# 4. 特記事項(今後の方針等)

市民が農を楽しみ支援する取り組みや森と市民とをづなげる取り組みを推進していく。



# 様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈	川県	市町村	村名		横浜市		t	也区名		三保	•新治周辺地区	面積	Ę	657ha
交付期間	平成24年度 ~	・平成26年度	事後評価第	<b>E施時期</b>	3	平成29年度	Ę	交付対	村象事業費		1.437百万円	国費率	0.4		
										事業名					
	当初計画に 位置づけ、	基幹事業	【公園】新治里	山公園整備	請事業 【地域生活	基盤施設】	三保緑地整備事	業、新治緑均	也整備事業、長津	田緑地整備事業					
	実施した事業	提案事業	【地域創造支持	爰事業】若葉	台地区センター	エレベータ	一の設置								
			事業名 削除/追加の理由										削除/追加による目標、	指標、数値	目標への影響
	当初計画から	基幹事業	なし												
1)事業の実施状況	削除した 事業	提案事業	なし												
	新たに追加し	基幹事業	なし												
	た事業	提案事業	なし												
	交付期間	当 初	平成2	4年度~平月	成28年度	交付期	間の変更による	5事業、	緑地整備事業については平成27年度から社会資本総合整備計画への移行したが、目標値への						ない。
	の変更	変更	平成2	4年度~平月	成26年度	指標	、数値目標への	影響							
		指 標		単位	従前値	<u>直</u> 基準年度	目標	直 目標年度	数 モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)		フォローアップ 予定時期
	指標1	樹林地の保全面	面積	ha	127.3	H23	150	H28		139.5	Δ	あり なし ●	緑地保全制度等により指定され 買入申込面積が想定以下のため		
2)都市再生整備計画 に記載した目標を												あり	新治里山公園は平成24年4月に ア(約0.6ha)を開園し、広場や全 設の「つどいの家」が作られたこ くの方に里山文化を楽しみ、学名 るようになった。さらに平成25年	天候型施 とにより、多 ぶことができ	
定量化する指標 の達成状況 ・	指標2	にいはる里山交 (旧奥津邸)の利		人/年	2,009	H22	2,209	H28		5,850	0	なし	はる里山交流センター」は、多くの 供たちが森を訪れ、森を知るため 設「ウエルカムセンター」として展 し、季節ごとの見所などの情報を り、自然に親しむためのイベント ため。	かの拠点施 ま示を整備 を発信した	-
	指標3	地区センター利	用満足度	%	満足・まあ満足(0)	H23	満足・まあ満足 (50)	H26		97	0	あり <b></b> なし	エレベーターの設置により、階の になり、利便性が向上した。	)移動が楽	-
4)定性的な効果 発現状況	緑地保全制度によ	る指定が進んだ	ことで、貯留・混	函養機能や	生物多様性、防災	<ul><li>減災など、</li></ul>	樹林地が持つ多	様な機能が	保全された。						

# 様式2-2 地区の概要

#### 三保・新治周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 日標値 評価値 127.3 H23 150.0 H28 横浜市の緑の七大拠点の一つ、「三保・新治地区」と梅田川とを結ぶ水と緑のネットワークの構築を目指して、地区内 樹林地の保全面積 単位:ha 139.5 H28 の緑地や水辺、農地、歴史的建造物等の地域資源や水辺の楽校プロジェクト等の資産を最大限に活用しながら、市民 にいはる里山交流センター(旧奥津邸) と協働して里山の自然環境を楽しみ、体験、学習、交流するための里山空間を保全・創造することで、地域の環境アメ 単位:人/年 2,009 H22 2,209 H28 5,850 H28 の利用者数 ニティの向上、レクリエーションの場の創出を図ることで、地域の活性化を促進する。 地区センター利用満足度 単位:% 満足・まあ満足(97) H29 満足・まあ満足(0) H23 満足・まあ満足(50) H26

三保緑地(三保市民の森)

若葉台地区センター エレベータ設置工事中写真



若葉台地区センターエレベータ 完成写真







新治緑地(新治市民の森)



・課題1:緑地や農地、河川等が一体となった里山空間の保全・創造と地域の活性化が求められている。→新治市民の森と新治里山公園周辺の水田・畑及び台地の里からなる谷戸の地域と恩田川・梅田川沿いの水田地域を「新治恵 の里」として、市民と農とのふれあいを通じて、地域ぐるみで農のあるまちづくりを進めており、米・麦作り教室や農業イベント等を開催している。

・課題2・3:市民が自然環境を楽しみ、体験、学習、交流するための拠点整備が必要。拠点整備やイベント等の開催による来訪者の増加や農地の活用等による地域の活性化が求められている。一新治里山公園は平成24年4月に第2 <mark>まちの課題の変化</mark>期エリア(約0.6ha)を開園し、広場や全天候型施設の「つどいの家」が作られ、より多くの方に里山文化を楽しみ、学ぶことができるようになった。さらに平成25年4月ににいはる里山交流センターは展示を整備し、多くの市民や子供たち が森を訪れ、森を知るための拠点施設としてのウエルカムセンターとして季節のみどころなどの情報を発信したり、自然に親しむためのイベントを開催している。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

市民が農を楽しみ支援する取り組みや森と市民とをづなげる取り組みを推進していく。 ・引き続き緑地保全制度等により指定された樹林地の買入れ申し出に対応します。

平成30 年 3 月30 日

合計

2, 408

地区の	名称		北寺尾・	獅子ケ名	\$周辺地区															
計画の類	期間	平成24年	F度 ~	平成28年	F度 (5年	下間) 交付	か期間	平成24年	度~	平成26年度	(3年間)	交付対象	横浜市							
計画の	目標																			
Ø,												習、交流するための 欠世代に継承し、身							、レクリ	エーション
計画の	)成果目	漂 (定量	量的指標)																	
即	死存の公	園を拡張	長整備する	らことで、	明るく利	少に歯止めをた 用しやすい環境 による、施設和	竟を創り出	出し、活発7	よ市民交	を流の通じ地域 の通じ地域 の対しますが、 の対しますが、 の対しますが、 の対しますが、 の対しますが、 の対しますが、 の対しますが、 の対しますが、 	えの活性化を かんしょう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	図る。(41,685人/年 0%→50%)	∈→42,101人/年)							
定量的	り指標の第	定義及び	が算定式.										定量的	り指標の現	記値及び	で目標値			/+:- +x	
AL SEP.	3111/1/12/	<u> </u>	7) // // // /		4								当初現況値		目標値	最終			備考	
① <b></b>	対林地の位	保全面和	書										(H23当初)				8末)			
1) 14	21.41.20.421		~										45. 2ha			49.	5ha			
② 黒	馬場花木	園 来園	園者数										(H22当初) 41,685人/年				7末) 1人/年			
@ 15	可未必	Ule Ent In N	. h - 410	1 * 0 # /	^ 소(/급/LL	の迷り広							, , , , ,			,				
3 2	○書館・□	地区で	ノダ 一利月	日有の女生	全・利便性	の両足度							(H24当初) 満足・まあ満足	ر ا			7末) まあ満足			
													(0%)			(50				
全体	体事業費	,		計 3 + C)	2, 40	8 A	2	,408	В	-	С	-	効果促進 A(提案分)+C					9. 4%		
										1			(5/2)(2)(7)	, , (11						
									事	後 評 価	(中 間	評 価)								
○事後評価				l、実施¤	寺期															
事後評価	(中間評価	価)の第			j						事後評価	の実施時期		事後評価	5: 平成28	8年度末時	<b></b> 持点			
評価の透明	月性、客	観性、グ	公正さを確	解保するた	とめ、学識	経験者を入れた	上評価を実	尾施しました	-0		公表の方	<b>∀±</b> .		1						
											五衣の刀	1/4		┛横浜市ホ		-ジ				
1. 交付充	+ 岳 声 光 /	の生生生	m6.4																	
<u>1. 交刊来</u> 交付対象事		ク進抄り	八亿																	
X N N 多																				
	事業	地域	交付	直接	-t- 386 -t+			* 1 .	4 h			事業内容	-t-m-t-l- /2		事業実	施期間(	年度)		全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接	事業者		安素	きとなる事業	<b>美名</b>		(	延長・面積等)	市町村名	H24	H25	H26	H27	H28	(百万円)	
12-A-6 2	2園	一般	横浜市	直接	横浜市		馬場	花木園整備	事業		実施設	計、耐震改修工事等	横浜市						184	(全体事業費 未確定)
12-A-6	園	一般	横浜市	直接	横浜市		二ツネ	池公園整備	事業		地質調	查、実施調査委託等	横浜市						19	地域自主戦略 交付金含む
12-A-6 <sup>地</sup> 基	地域生活 基盤	一般	横浜市	直接	横浜市		駒岡・村	梶山緑地整	備事業		j	录地 0.12ha	横浜市						30	
12-A-6 <sup>地</sup> 基	地域生活 基盤	一般	横浜市	直接	横浜市		馬場四	丁目緑地整	備事業		}	录地 0.76ha	横浜市						786	
12-A-6 <sup>地</sup> 基	也域生活 基盤	一般	横浜市	直接	横浜市		北寺川	寺尾緑地整備事業			;	录地 0.96ha	横浜市						532	
12-A-6 <sup>地</sup> 基	也域生活 基盤	一般	横浜市	直接	横浜市		獅子ケ谷・師岡緑地整備事業		;	录地 1.52ha	横浜市						296			
12-A-6 <sup>地</sup> 基		一般	横浜市	直接	横浜市		東寺	尾緑地整備	事業			录地 0.19ha 邻工事、施設整備工	横浜市						197	
10 4 6 地	也域生活 基盤	一般	横浜市	直接	横浜市		熊野	P神社整備 写	業			6.56ha、舗装工事等	横浜市						137	
12-A-6 <sup>地</sup> 支	也域創造 支援事業	一般	横浜市	直接	横浜市	港	<b>悲北図書館</b>	す・菊名地区	<b>エ</b> センタ	· —		¥地上3階 鉄筋コン 、造延床面積3,478㎡							227	提案分

#### 緑地整備事業の進捗により、市街地における緑地の保全が進んだ。 I 定量的指標に関連する 馬場花木園整備事業については、拡張予定地について引き続き防災・安全交付金事業の都市公園事業として整備をし、その後拡張部分を公開するため、平成29年度末時点 交付対象事業の効果の発現状況 において効果は発現していない。 最終目標値 49.5ha 指標①(樹林地 目標値と実績値 緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が想定以上のため。 Ⅱ定量的指標の達成状況 の保全面積) に差が出た要因 最終実績値 56. 4ha 最終目標値 42,101人/年 指標② (馬場花 目標値と実績値 木園来園者数) に差が出た要因 最終実績値 指標③ (図書 最終目標値 満足・まあ満足(50%) 館・地区セン <u>目標値と実績値</u>耐震工事にあわせて、授乳室の新設などのリフォームを実施したため。 ター利用者の安 に差が出た要 全・利便性の満 最終実績値 満足・まあ満足(100%) 足度

## Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

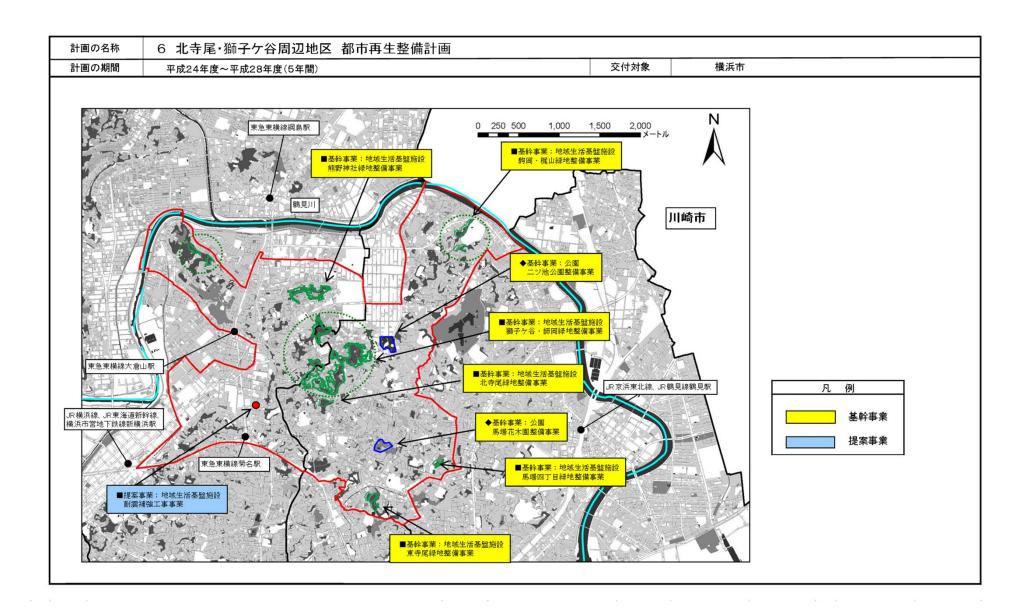
- ・緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が高まった。
- ・東寺尾緑地(東寺尾ふれあいの樹林)、獅子ケ谷・師岡緑地(獅子ケ谷市民の森)について、市民と協働で良好な森を育成するための取組などにより、活動団体の関わりが広がり、深まった。

### 3. 学識経験者の意見

- ・馬場花木園の早期整備を進めてください。
- ・引き続き、樹林地の保全を着実に進めてください。

### 4. 特記事項 (今後の方針等)

②については、馬場花木園拡張部分工事中のため評価できません。引き続き防災・安全交付金事業の都市公園事業で事業を推進し、事業の早期完成を目指します。今後のまちづくりの方策について 東寺尾緑地(東寺尾ふれあいの樹林)、について、市民の森に携わる様々な立場の人(利用者や土地所有者、森づくり活動をする人、行政など)や森の生き物、地域の文化や伝統なども生かしながら、目標となる森の姿を考え、具体的な管理の計画を定める「保全管理計画」を策定しました。 今後は樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進し、また、森と市民とをづなげる取り組みの推進していきます。



# 様式2-1 評価結果のまとめ

ſ	都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	北寺尾・獅子ケ谷周辺地	X	面積	943ha
ı	交付期間	平成24年度~平成26年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	2,222百万円 国費率	0.4		

										事業名					
	当初計画に 位置づけ、 実施した事業	基幹事業	【地域生活基	盤施設】駒岡		事業、馬場·	一丁目緑地整備 <b>罩</b> 社緑地整備事業、			「業、馬場四丁目	緑地整備事業、	北寺尾緑地整備事	業、獅子ケ谷・師岡緑地整備事業、東寺尾	<b>《緑地整備事業、大曽</b>	
		提案事業	なし												
		•		事業名 削除/追加の理由									削除/追加による目標、指標、数値	直目標への影響	
1)事業の実施状況	当初計画から削除した	基幹事業	【地域生活基: 根台緑地整備	盤施設】馬埠 情事業、篠原	易一丁目緑地整備 城址緑地整備事	事業、馬場 業、大倉山	二丁目緑地整備 緑地整備事業	事業、大曽	地権者との用地	交渉が難航し、期	間内の実施が	困難になったため	影響なし		
	事業	提案事業	なし												
	新たに追加し	基幹事業	なし												
	た事業	提案事業	【地域創造支	援事業】耐急	震補強工事(港北	図書館∙菊彳	名地区センター)			内の学習する場の		として追加	新たに「図書館・地区センター利用者の安 追加	_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
	交付期間	当 初	平成2	4年度~平月	成28年度	交付期	間の変更による	5事業、	緑地整備事業	については平成	27年度から社	会資本総合整備	計画への移行したが、目標値への影響	はない。	
	の変更	変 更	平成2	4年度~平月											
		指 標	標 単		従前(	直 基準年度	目標	直 目標年度	サージャング モニタリング	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	樹林地の保:	全面積	ha	45.2	H23 当初	49.5	H28末		56.4	0	あり なし	緑地保全制度等により指定された樹林 地の買入申込面積が想定以上のため。	-	
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標2	馬場花木園	来園者数	人/年	41,685	H22 当初	42,101	H28末		42,000	Δ	なし	馬場花木園整備事業については、拡張 予定地についてで成29年度(都市再生 整備計画事業繰越分)~平成30年度に 公園として整備をし、その後拡張部分を 公開することとなるため、来園者数は増 える見込み。		
	指標3	者の安全・利度		%	満足・まあ満足 (0%)	H24 当初	満足・まあ満足 (50%)	H2/木		満足・まあ満足 (100%)	0	あり なし	耐震工事にあわせて、授乳室の新設な どのリフォームを実施したため。	-	
4)定性的な効果 発現状況	・緑地保全制度に ・東寺尾緑地(東寺									の取組などにより	、市民の森への	)関わりが広がり、	深まった。		

# 様式2-2 地区の概要

### 北寺尾・獅子ケ谷周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

地区内の限られた緑地や歴史的建造物等の地域資源を最大限に活用しながら、自然環境を楽しみ、体験、学習、交通のでは、 流するための空間を保全・創造するとともに、地域の環境アメニティの向上、レクリエーションの場の創出を図ることで*、* 地域の活性化を促進する。

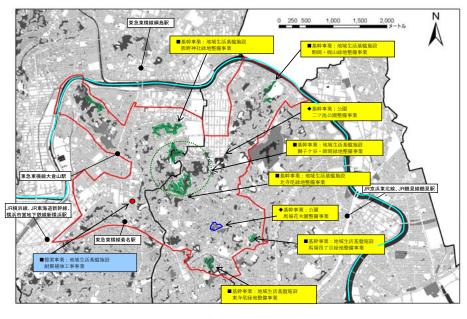
また、これら貴重な環境資源の保全に努め、豊かな緑を次世代に継承し、身近に自然とふれあえ、潤いを感じられる 生活環境を守る。

まちづくりの目標

	目標を定量化する指	標	従前値		目標値		評価値	
交	樹林地の保全面積	単位:ha	45.2	H23	49.5	H28	56.4	H28
	馬場花木園 来園者数	単位:人/年	41,685	H22	42,101		馬場花木園の拡張工 め評価できません	事中のた
る	図書館・地区センター利用者の安全・利 便の満足度	単位:%	満足・まあ満足(0)	H24	満足・まあ満足(50)	H27	満足・まあ満足 (100)	H29









東寺尾緑地(東寺尾市民の森)

課題1:貴重な緑の保全に努め、豊かな緑を次世代に継承していく必要がある。→緑地保全制度等により指定された樹林地の買入申込面積が増えた。

課題2:市民が自然環境を楽しみ、体験、学習、交流するための拠点整備が必要→東寺尾緑地(東寺尾ふれあいの樹林)、獅子ケ谷・師岡緑地(獅子ケ谷市民の森)について、市民と恊働で良好な森を育成す るための取組などによ り、市民の森への関わりが広がり、深まった。また、市民の森、ふれあい樹林のガイドマップを作成して、市民が気軽に森を訪れ、楽しむ環境づくりを行った。

まちの課題の変化 課題3:拠点整備やイベント等の開催による来訪者の増加等地域の活性化が求められている。→森に関わる市民の裾野を広げるため、森に関するイベントや講座の開催などによりう、市民が森に関わるきっかけを提供した。 課題4:耐震補強工事が必要な施設の耐震化が求められている。→耐震工事を実施した。

今後のまちづくり の方策 (改善策を含む)

東寺尾緑地(東寺尾ふれあいの樹林)、について、市民の森に携わる様々な立場の人(利用者や土地所有者、森づくり活動をする人、行政など)や森の生き物、地域の文化や伝統なども生かしながら、目標となる森の姿を考え、具 体的な管理の計画を定める「保全管理計画」を策定しました。

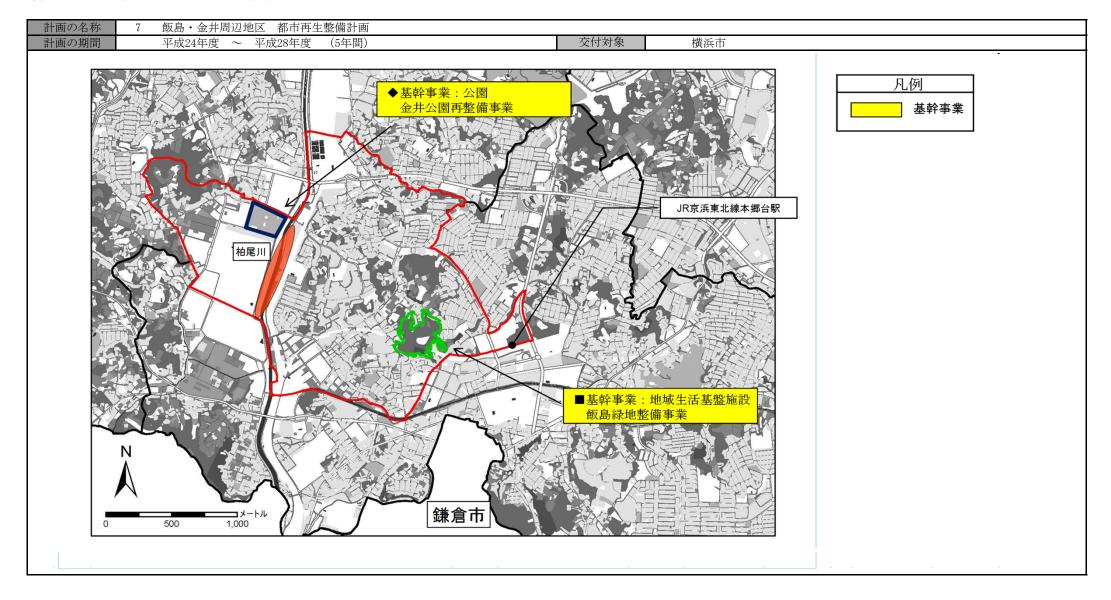
今後は樹林地の質を維持・向上させ、生物多様性の保全や利用者などの安全確保のため、愛護会などと連携して森づくりを推進し、また、森と市民とをづなげる取り組みの推進していきます。 馬場花木園整備事業については引き続き防災・安全交付金事業の都市公園事業で事業を推進し、事業の早期完成を目指します。

平成30 年3 月 30 日

地区の名	名称		飯島・金	2井周辺地	拉区														
交付の類			平成24年	三度 ~	平成26年	三度 (3年	間)			交付対象		横浜市							
計画の目	目標																		
境	横浜 ぎを守る		つ七大拠点	点の「舞問	岡・野庭」	及び「円泊	海山周	辺」と隣接してお	り、これ	いらまとまりのあ	る貴重な約	录の保全に努め、	豊かな緑を次世代	に継承し	、身近に	自然とふ	れあえ、涯	聞いを感じられ	る生活環
計画の	成果目	標(定量	動指標)																
詞 関	<sup>最地保全</sup> E存の公	制度に排 園を再動	旨定するこ を備するこ	ことにより ことで、即	り、緑の源 明るく利用	載少に歯止る 目しやすい!	めをかり 環境をク	け、環境資源を保 創り出し、活発な	全する。 市民交流	(11.7ha→18.5 花の通じ地域の活	iha) 性化を図る	ろ。(32, 419人/年	至→32,743人/年)						
定量的	指標の	定義及び	が算定式										定量的 当初現況値	指標の現 中間目		目標値 最終目	標値	備考	
① 桂	材林地の	保全面和	責										(H23当初) 11.7ha			(H28 18.5			
	# // E	1	마 사람 사이 극소 과	<i></i>															
(2) 金	<b>企开公</b> 園	有料施記	设資料者類	汉									(H22当初) 32,419人/年			(H27 32, 743			
全位	本事業費	ŧ		·計 3 + C)	3, 1	74	A	3,174	В	-	С	-	効果促進事 (A(提案分)+C)				<u> </u>		
			(11   1	3 1 0)								Į.	A(近条刀)「C)	/ (A	БС				
									虫 :	後評価(「	カー間   証	価)							
)事後評価	6 (由間	[誣儒] 0	宇施休告	宝梅	- 本 田				7'		HJ    F	IЩ /							
事後評価 (					2 731						事後評価	Hの実施時期							
, DOLL IN	(11,341	11-17	<b>4.211 113</b>		J						7 100 87 118	1 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /		事後評価	i:平成28	年度末時	点		
平価の透明	性、客	観性、少	公正さを確	催保する だ	とめ、学譜	裁経験者を	入れた	評価を実施しまし	た。		公表の力	7法							
											1000			横浜市ホ	ームペー	ジ			
<b>1</b> → ∠ ∠ ↓ ↓ ↓	1.4. 中米	~ \#+#\	Nom																
1. 交付対		の進捗	<b>下</b> 沉																
交付対象事																			
A1 基盤?					1									T					
	事業	地域	交付	直接	事業者			要素となる事	業名			事業内容	市町村名			施期間(2	牛皮)	全体事業領 (百万円)	備考
	種別	種別	対象	間接							(処	長・面積等)		H24	H25	H26		(1311)	
12-A-7 公	園	一般	横浜市	直接	横浜市			金井公園整備	事業		電気設備	<b></b>	横浜市					78	地域自主 戦略交付 金含む
12-A-7 地	地生活 盤	一般	横浜市	直接	横浜市			飯島町緑地整伽	<b>前事業</b>		緑地 6.	56ha、舗装工事等	横浜市					3, 090	3
基	5/益.											· · ·							
			<u> </u>								I		<u> </u>			合計		3, 174	+
その他関連	する重	業		I												ㅁ莭		3, 17	t
- I= 1/4 · · ·	事業	地域	交付	直接	事業者	省略		而主	しかるす	<b>主光</b> 力		事業内容	市町村名		事業実力	施期間 (*	年度)	全体事業領	備考
	種別	種別	対象	間接	尹耒白	工種		安	となる事	* 未 行	(延	長・面積等)	港湾・地区名	H22	H23	H24		(百万円)	
																0 == 1			
																合計			

### 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況 I定量的指標に関連する 金井公園について、再整備工事が行われ地域住民の活動の活性化が図れた。 緑地整備事業の進捗により、市街地における緑地の保全が進んだ。 交付対象事業の効果の発現状況 最終目標値 18. 5ha 指標①(樹林地 目標値と実績値 に差が出た要因 Ⅱ定量的指標の達成状況 緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が想定以上のため。 の保全面積) 最終実績値 18. 6ha 32,743人/年 最終目標値 指標②(金井公 目標値と実績値 に差が出た要因 園有料施設利用 金井公園再整備工事により、リニューアルしたことで、利用者数の増加につながった。 者数) 最終実績値 42,199人/年 ・緑地保全制度による指定が進んだことで、貯留・涵養機能や生物多様性、防災・減災など、樹林地が持つ多様な機能が高まった。 Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 ・飯島緑地(飯島市民の森)について、市民と協働で良好な森を育成するための取組などにより、活動団体の関わりが広がり、深まりました。 (必要に応じて記述) 3. 学識経験者の意見 ・引き続き、樹林地の保全を着実に進めてください

4. 特記事項(今後の方針等)



都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	飯島·金井周辺地区		面積	331ha
交付期間	平成24年度~平成26年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	3,174百万円 国費率	0.4		

										事業名				
	当初計画に 位置づけ、	基幹事業	【公園】金井公	園再整備事	業、【地域生活基	基盤施設]飯.	島町緑地整備事	業						
	実施した事業	提案事業	なし											
		I .			事業	<b>美名</b>				削除/	追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値	目標への影響
	当初計画から	基幹事業	なし											
1)事業の実施状況	削除した 事業	提案事業	なし											
	新たに追加し	基幹事業	なし											
	た事業	提案事業	なし											
	交付期間 の変更	当初変更		4年度~平成 4年度~平成		交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響			飯島町緑地	也整備事業につ	いては平成274	¥度から社会資	本総合整備計画へ移行したが、目標値への	の影響はない
2)都市再生整備計画		指標		単位	従前 <sup>。</sup>	値 基準年度	目標		数 モニタリンク	値 評価値	目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
に記載した目標を 定量化する指標	指標1	樹林地の保全面	ī積	ha	11.7	H23	18.5	H28		18.6	0	あり - なし -	緑地保全制度等により指定された樹林地の 買入申込面積が想定以上のため。	-
の達成状況	指標2	金井公園有料施	設利用者数	人/年	32,419	H22	32,743	H27		42,199	0	あり - なし -	老朽化対策やバリアフリー化が図られ、利用者が増えた。	-
			単位	従前 <sup>.</sup>	値 基準年度	目標	-	数 モニタリンク	値 評価値	目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値	その他の 数値指標1													
目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標2													
	その他の 数値指標3													
4)定性的な効果 発現状況	<ul><li>・緑地保全制度に。</li><li>・飯島緑地(飯島市</li></ul>									りました				

#### 飯島・金井周辺地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画の成果概要 まちづくりの目標 目標を定量化する指標 従前値 目標値 評価値 まとまりのある貴重な緑の保全に努め、豊かな緑を次世代に継承し、身近に自然とふれあえ、潤いを感じられる生活樹林地の保全 単位: ha 11.7 H23当初 18.5 H28末 18.6 H28末 環境を守る。 金井公園有料施設資料者数 32,419 H22当初 32,743 H27末 42,199 H27末 単位: 人/年

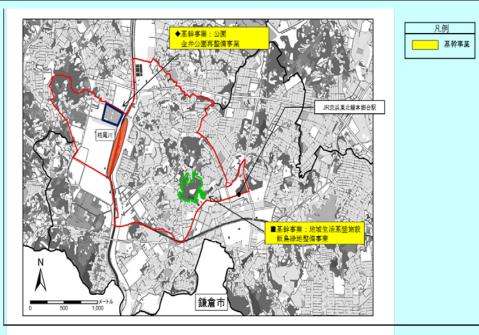
飯島町緑











・課題1:貴重な緑の保全に努め、豊かな緑を次世代に継承しておく必要がある。→緑地保全制度等により指定された樹林地の面積が増えた ・課題2:市民が自然環境を楽しみ、体験、学習、交流するための拠点整備が必要。→飯島町緑地に近い飯島市民の森について、市民と協働で良好な森を育成す るための取組などにより、市民の森への関わりが広がり、深まり |まった |・課題3:昭和56年に開園した金井公園は、公園施設の老朽化が著しく、バリアフリー化が図られていない。→金井公園再整備工事によって老朽化対策やバリアフリー化が図られた。

今後のまちづくり

まちの課題の変化